

# 留学報告書 II (2021 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢中等部 2 年
留学先校名	Eaglebrook School
留学期間	2021 年 9 月から 2022 年 5 月まで

## 留学を振り返って

### 留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？

Eaglebrook では、僕の期待をはるかに超えた密度の濃い生活を送ることができました。

慶應義塾湘南藤沢キャンパスのおよそ 10 倍の大きさを誇る広大なキャンパスには、Ski hill やキャンプ場、そして全てのスポーツの Field が完備されていて、大自然と触れ合えるさまざまなアクティビティやスポーツを経験でき、寮の仲間とのアクティビティや日常生活もとても充実していました。

生徒の総数は 250 人ほどで、1 クラスの生徒が 3~10 人ほどと少人数だったので、Interactive な授業ができ、とても参加しやすかったです。

～良かった点～

- ◆ 世界 20 カ国から生徒が集まっていて、生徒総数が 250 人ほどと少人数で、さらにダイニングテーブルで生徒の席が 2 週間ごとに割り当てられたり、毎週末のアクティビティで知らなかった人と仲良くなったりとお互いを知る機会が多くあったので、様々な学年や国籍の仲間とコミュニケーションをとることができた。生徒同士だけでなく、生徒と先生の繋がりも強く、Eaglebrook Community 全体が家族のようで居心地がとても良かった。
- ◆ 先生たちが生徒の意見を尊重してくれていて、僕たちの様々な提案を受け入れてくれた。僕自身はキャンプを計画して実行したり、ピアノ、チェロ、バイオリンでピアノトリオを組んで活動することもできた。
- ◆ 授業の形式が日本とは違ってとても Interactive で、積極的に授業に参加できた。また、先生方が僕たち生徒の意見をどんなことでも否定せず真剣に耳を傾けて下さり、とても発言しやすい環境だったので、授業では常に意見が飛び交っていて、さまざまな視点から物事を捉えることができた。先生方は生徒の理解に重きを置いていて、説明を妨げてでも意見や質問をして欲しいと言ってくれる先生方もいた。
- ◆ Ski Hill(リフト完備)、Field(5 面)、Hockey Rink、Gym、Weight room(トレーナー常駐)などのスポーツ施設や Wood workshop や Innovation Lab など芸術関連の充実した施設もたくさんあり、スポーツや Elective も選択肢がたくさんあったので、今まで試したことのないものにもチャレンジできた。僕はスポーツは Cross country と Track & Field、芸術は Stone carving や 3D printing に挑戦し、それぞれで良い結果を残すことができた。
- ◆ Eaglebrook では平日休日問わず毎日のようにアクティビティが行われていて、様々なことに会うことができた。また、Eaglebrook ならではの大自然と触れ合うことができた。
- ◆ アメリカの様々な Competition や Award に参加する機会を頂き、そこで受賞することができたので自信に繋がった。
- ◆ 多様な背景を持つ仲間が集まっていたので、ルームメイトや友達と互いの文化の価値観の違いを体感できた。また、日本を他国の視点から見ることができ、日本の治安の良さを始め、日本の良さについて改めて気付くことができた。
- ◆ Leadership Activity など、良いリーダーとは何かや、協力の仕方を学ぶことができる機会がたくさんあった。また、LGBTQIA+ や Native American、Black People など、多様性への理解が深まる講演会や話し合いが多くあった。
- ◆ 基本的に全ての生徒のスマートフォンの使用時間が制限されていたので、その分仲間と過ごす時間が増え、外で遊んだり、語り合ったりと直接交流する機会がたくさんあった。

これらに加え、コロナによつての制限がほとんどなかったのも、Eaglebrook での生活を思う存分味わうことができました。

**クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。**

スポーツ

毎日授業後に2時間ぐらいあり、季節ごとに選択します。

僕は、Fall Term に Cross Country、Winter Term に Recreational Skiing、Spring Term に Track & Field を選びました。

平日に限らず、週末にも対外試合などがよくありました。

Sports は学年に関係なく全ての学年からの生徒が集まっていたので、様々な仲間とコミュニケーションをとるきっかけになりました。

アクティビティ

Eaglebrook には日本のクラブのようなものはありませんでしたが、非常に多くのアクティビティがあり、たくさんのアクティビティに参加することができました。

大きく分けて2つのアクティビティがありました。

◆ 有志が参加するアクティビティ

僕は Jazz Band、Robotics Club、Japanese Affinity、Sustainability Committee 等に参加しました。  
～Robotics Club～

2月に開催された FTC(First Tech Challenge)という大会を目指し、毎週日曜日に活動していました。

メンバーは10人ぐらいで、それぞれが Coding や Building 等を担当しました。

僕は Building と Driving を担当し、大会でロボットをコントロールする役を任せられました。僕のチームは Elimination match で2位になり、Eaglebrook 初の入賞となりました。他にも、近くの大学(Umass Amherst College)に行き、最先端の技術に触れるなど、とても貴重な経験ができました。

◆ 週末のアクティビティ

Weekend Elective Activities(毎週約20種類のアクティビティの中から選び、割り当てられる)では、Campfire Cookout/Hike to the Rock/Learn to Skate/Grillin'with Smoke/Bowl and Chopsticks Rest Creation/Dining Hall Set up/Listening to the Podcast/Chess/Football Practice などに参加しました。

Outdoor Program Trips(申し込んで選ばれたら参加できる)では、

White Water Rafting/Falconry/Rock Climbing/Canoeing/Camping/Hiking

など、Campus 外でのアクティビティにも参加することができました。

仲間でアクティビティを提案し、先生方の許可を得て自分たちで実行することもよくありました。先生方も快く対応して下さり、助けも得やすかったです。僕は友達とキャンプを提案、実行したり、ピアノ・チェロ・バイオリンのピアノトリオを結成して活動しました。

また、アクティビティとは別に、EBStalks(Eaglebrook 版の TED talk)というスピーチ大会で東日本大震災についてのスピーチをさせて頂きました。大舞台での英語のスピーチは初めての経験だったので、僕の自信につながりました。

**ルームメイトはどのような方でしたか？(1人部屋だった場合は、同じ寮の友人について教えてください。)**

僕の部屋はメキシコ出身のルームメイトとの2人部屋で、1年間仲良く過ごすことができました。

彼は裕福な家庭に生まれたカトリック教徒で、両親を大切にし、将来のビジョンをしっかりと持っていました。

他のメキシコの仲間も僕たちの部屋によく集まっていたので、スペイン語も飛び交っていました。彼には少しスペイン語を教えてもらいました。彼から受けた影響は非常に大きかったです。

彼とは、メキシコと日本の宗教や文化の違いなどについて深夜まで話し込むことがよくありました。彼は敬虔なカトリック教徒だったので、その視点からの世界観を知ることができ、とても衝撃を受けました。

また、彼からはメキシコでの生活の様子もたくさん教えてもらいました。僕はそろばんや寄木細工など日本の文化をたくさん紹介しました。

僕の寮は Flagler という30人程の寮で、Eaglebrook の寮の中では少し狭い方でしたが、学年や国籍も様々で、友人達も先生方も優しく、とても充実した寮生活を送ることができました。また、全ての寮には先生方が家族と住んでいます。僕の寮には4家族住んでいて、先生の Apartment で野球観戦をしたり、先生の子供たちや犬と遊んだり、寮の外で先生と Football をしたりととてもアットホームな雰囲気の中で過ごすことができました。Eaglebrook の全員が家族のようで、僕もその一員になることができました。

寮としての仲間意識も強く、寮対抗のイベントなども多くありました。皆自分の寮に誇りを持っていて、どこの寮が1番か議論になることもよくありました。

### 短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

僕は留学中一度も日本に帰国せず、長期休暇は全てホームステイをして過ごしました。ホストファミリーは契約しているガーディアン会社に紹介していただきました。  
秋の Thanksgiving Break と冬の Christmas Break は Eaglebrook 近郊の Northampton、春の Spring Break はボストン郊外の Concord で過ごし、アメリカの日常生活を経験できるとても良い機会でした。Eaglebrook には長期休暇の他に寮の生徒が家族と過ごすことのできる週末がありましたが、僕は寮に残りました。その週末は、先生が僕や残っている他の数名の生徒を Boston の科学博物館や街のボーリング場に連れて行ってくださり、楽しく過ごすことができました。

## 学業について

### 各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

Eaglebrook は1クラスが3名から12名と少人数なので Interactive に授業が進みます。

5つの教科と、2つの Elective(Term 毎に選択肢から選ぶ)を受けました。

Eaglebrook の授業で日本の授業と大きく異なっていると感じた点は、授業の形式、成績の評価の仕方、そして長期休暇の宿題です。

課題や宿題は、自由時間や Lunch Time Study Hall(昼の自習時間)の約1時間、Study Hall(夕食後の自習時間)の約2時間に取り組みます。Study Hall は基本的に机に向かっての必要がありますが、その間にアクティビティなどがある場合もあります。

宿題の量は日によりますが、多い日は Late light の許可をもらい、消灯を30分ほど遅らせることができました。

Eaglebrook での授業は Input、Output をバランスよく経験でき、生徒主体で授業が進んでいました。先生方は生徒個人の成長をととてもよく見ていてくださり、先生と生徒のコミュニケーション量が多かったです。日本と比べてコミュニケーションが取りやすい環境にあり、いつでも質問することができました。日本での授業は Input の割合が多く情報量が多いので、自分自身で内容を掘り下げ根本的な概念を理解する余裕がなく、応用力がつきにくいのかな、と感じました。

そして、Eaglebrook ではテストは成績の20%ほどしか占めておらず、クラス内での課題、例えばプレゼンテーションやリサーチペーパーが中心だったことが印象に残っています。

授業が充実している Eaglebrook でしたが、それだけではなく、Home night のように完全に宿題がない日を毎週設定し、仲間と楽しむ時間もとても大切にしていました。長期休暇も宿題はほとんどなく、ホームステイ先でいろいろなことについて考えたり、好きな本を読んだりすることができ、Thanksgiving や Christmas などの行事も思う存分楽しむことができました。授業と休みのメリハリをつけることで、学校生活では学べない経験を楽しみ、授業にも集中できる、ということを実感できました。

## 今後について

### この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

この派遣留学を通し、僕は学問だけでなくスポーツ、芸術、日常生活など全てにおいて成長することができたと思います。

特に、世界各国から集まった仲間と生活を共にすることで、宗教観や世界観などより多様な視点に触れられ、人前に立つことに自信を持てるようになりました。

具体的には、

- ◆ 世界各国の仲間と生活を共にすることで、友達とお互いの文化を語り合い、肌で感じ合うことができました。
- ◆ Eaglebrook では、日本では学べなかった新しい物事を新しい視点で学ぶことができた。特に近代アメリカ史や英語、ラテン語を学ぶことで視野を広げることができた。
- ◆ スポーツ面では、僕は試したことのない Cross Country などを通して、心身共に成長できた。単

に結果を追い求めるだけでなく、練習を続ける **Effort**、最後までやり切る **Patience** も学ぶことができた。

- ◆ 芸術面では、**Stone carving** や **3Dprinting** など **Creative** な授業で立体的な芸術作品を作ったり、ピアノのソロ・**jazz band** 共にパフォーマンスをするなど積極的に参加することができた。
- ◆ 日常生活では、規則正しい生活を送ったり、整理整頓をしたり、順序立てて宿題をしたりと **Organize** するやり方を身につけることができた。
- ◆ 試合で上位を取った翌日に先生や生徒が声をかけてくれたり、キャンドルナイトでピアノの演奏を披露してから仲間や **Faculty** がすれ違うたびに声をかけてくれて、とても嬉しくなり、自信につながった。
- ◆ **Eaglebrook** では人前でパフォーマンスする機会が多くあり、ピアノや **Jazz Band** の発表、プレゼンテーション、スピーチ大会などを通して、人前で喋ったりパフォーマンスしたりすることに自信がついた。
- ◆ また、**Eaglebrook** では、先生方や友達と積極的にコミュニケーションをとっていたので、コミュニケーションも積極的に取ることができるようになった。
- ◆ **MyEBS**(**Eaglebrook** 専用の課題提出、スケジュール確認などが出来るサイト)などを活用することで自己管理ができるようになった。
- ◆ **Leadership Activity** など良いリーダーとは何かや、協力の仕方を学ぶことができた。
- ◆ キャンプの計画やトリオの結成、日本の文化の紹介など、自ら提案をし成し遂げる力や、積極性を身につけることができた。

### 今後の派遣留学生へのアドバイス

(事前に日本で学習しておいた方が良く、用意しておいた方が良くあればお知らせ下さい)

- ◆ 多くの人が日本の文化に興味を持っていて、**meal** の時や友達との会話の中で日本の様子や文化についてよく話題になりました。日本の文化について自分の言葉で伝えられるよう準備していたので、友人や先生方との会話が弾みました(特にアニメや日本食についての話題が多かったです。)
- ◆ 特に最初の数週間は仲間や先生に積極的にコミュニケーションを取ることで、残りの一年が充実したものになると思います。日本から日本ならではの物を共有したりプレゼントすることで友達が日本にとっても興味を持ってくれて、話すきっかけができ、話題も広がりました。
- ◆ **Eaglebrook** にはほとんど日本人がおらず、僕の行動が日本人のイメージとなってしまうので、責任を持って行動しました。
- ◆ また、新しいことにチャレンジする機会がたくさんあるので、今までに試したことのないものにも積極的にトライしてみると新しい発見があると思います。
- ◆ 私は、**Eaglebrook Community** の一員としてコミュニティに貢献し、インパクトを与えられるような印象的な存在になることを目指しました。
- ◆ 授業や生活管理など全てにおいて **Chromebook** を使用していたのでパソコンに慣れておくとうまいと思います。

以上

